



2024年12月20日

各 位

上場会社名 **コーセル株式会社**

代 表 者 名 代表取締役社長 齊藤 盛雄

(コード番号 6905 東証プライム市場)

問い合わせ先 執行役員 経理部長 高島 大介

TEL 076-432-8149

第2四半期（中間期）業績予想と実績との差異および 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2024年6月19日に公表した2025年5月期第2四半期（中間期）の業績予想と本日公表の実績との差異が生じたこと、および最近の業績動向を踏まえ、通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

I. 第2四半期（中間期）業績予想の差異について

2025年5月期第2四半期（中間期）連結業績予想との差異（2024年5月21日～2024年11月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	17,910	2,102	2,170	1,332	40.16
実績（B）	14,855	634	594	278	7.16
増減額（B-A）	△3,054	△1,467	△1,575	△1,053	
増減率（%）	△17.1	△69.8	△72.6	△79.1	
〔ご参考〕前期中間期実績 （2024年5月期中間期）	21,602	4,218	4,898	3,539	106.75

2025年5月期第2四半期（中間期）個別業績予想との差異（2024年5月21日～2024年11月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	14,190	2,040	2,480	1,710	51.56
実績（B）	11,547	647	1,379	1,133	29.12
増減額（B-A）	△2,642	△1,392	△1,100	△576	
増減率（%）	△18.6	△68.3	△44.4	△33.7	
〔ご参考〕前期中間期実績 （2024年5月期中間期）	16,588	2,984	3,887	2,869	86.55

差異の理由

当第2四半期（中間期）における業績につきましては、過年度の先行手配による受注急増の反動と、それに伴う顧客での在庫過多の影響により、前連結会計年度から顧客での発注調整が継続しております。発注調整により新規受注が減少し、売上高は連結・個別ともに、前回発表予想を下回る実績となりました。

また営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、売上高の減少と変動費比率の上昇による収益力の低下、基幹システム入れ替えに伴う一時的な機会損失の発生等による影響に加え、減価償却費及び経費の増加等により、連結・個別ともに、前回発表予想を下回る実績となりました。

II. 通期業績予想の修正について

2025年5月期通期連結業績予想の修正（2024年5月21日～2025年5月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	38,000	5,319	5,444	3,692	111.32
今回修正予想（B）	29,174	1,245	1,278	751	18.76
増減額（B-A）	△8,826	△4,074	△4,166	△2,941	
増減率（%）	△23.2	△76.6	△76.5	△79.7	
〔ご参考〕前期実績（2024年5月期）	41,437	6,912	7,850	5,169	155.87

2024年5月期通期個別業績予想の修正（2024年5月21日～2025年5月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	30,040	4,790	5,270	3,640	109.75
今回修正予想（B）	22,602	1,210	1,988	1,552	38.78
増減額（B-A）	△7,438	△3,580	△3,282	△2,088	
増減率（%）	△24.8	△74.7	△62.3	△57.4	
〔ご参考〕前期実績（2024年5月期）	31,772	4,882	6,086	4,074	122.84

修正の理由

今後の見通しにつきましては、ウクライナ紛争の長期化や中東情勢の緊迫化など、地政学リスクの高まりによって、世界経済の不確実性や、国際政治情勢の混迷が強まっており、予断を許さない状況が続くものと思われます。

当社グループが属するスイッチング電源市場を取り巻く環境としては、I o T、A I、5 G分野の広がりにより、半導体製造装置関連は徐々に回復に向かっているものの、中国景気の低迷長期化により、F A 関連機器、医療機器等の需要回復は遅れると想定しております。

このような状況下で、当社グループでは、一部半導体関連の需要増加を見込んでおりますが、全体的な需要は上期同様に低調に推移すると見込んでおります。通期の業績につきましては、売上高は下半期も軟調に推移すると想定し、連結・個別とも、前回発表予想を下回る見込みとなりました。また、利益面では経費削減に努める一方で、売上高減少の影響が大きく、通期予想は前回発表予想を下回る見込みとなり、業績予想を下方修正いたします。

なお、通期業績予想の前提となる為替レートは、1 U S ドル=145.00円、1 ユーロ=161.00円、1 スウェーデン・クローナ=14.00円を想定しております。

※業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算出しておりますが、需要動向などの変化、各種通貨間の換算レート変動、株式市況動向など、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、内外環境変化などにより業績予想と乖離することもあり得ますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

以上